

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-122081

(P2007-122081A)

(43) 公開日 平成19年5月17日(2007.5.17)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
<b>G02F 1/133 (2006.01)</b>	G02F 1/133 535	2H093
<b>G09G 3/36 (2006.01)</b>	G09G 3/36	5C006
<b>G09G 3/20 (2006.01)</b>	G09G 3/20 612L	5C080
<b>G09G 3/34 (2006.01)</b>	G09G 3/20 612J	
	G09G 3/34 J	
審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 11 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2007-21694 (P2007-21694)	(71) 出願人	390019839
(22) 出願日	平成19年1月31日 (2007.1.31)		三星電子株式会社
(62) 分割の表示	特願2001-376107 (P2001-376107) の分割		S a m s u n g E l e c t r o n i c s C o . , L t d .
原出願日	平成13年12月10日 (2001.12.10)		大韓民国京畿道水原市靈通区梅灘洞 4 1 6
(31) 優先権主張番号	2001-51356	(74) 代理人	100094145
(32) 優先日	平成13年8月24日 (2001.8.24)		弁理士 小野 由己男
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)	(74) 代理人	100106367
			弁理士 稲積 朋子
		(72) 発明者	李 相 哲
			大韓民国京畿道城南市壽井区新興 2 洞斗山 アパート 1 0 1 棟 1 0 1 号
		(72) 発明者	郭 珍 午
			大韓民国京畿道水原市八達区靈通洞太栄ア パート 9 3 3 棟 1 2 0 1 号
		最終頁に続く	

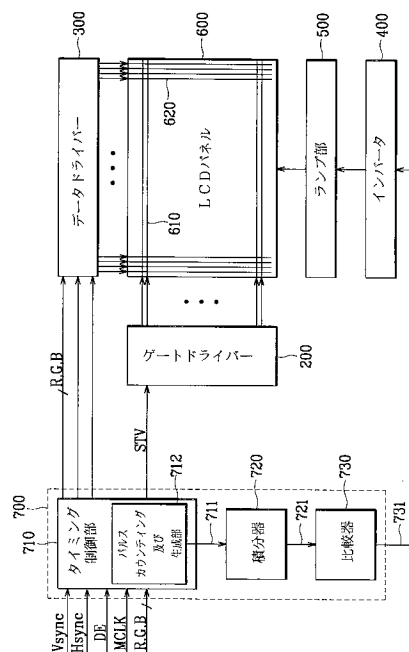
(54) 【発明の名称】 液晶表示装置の駆動方法

## (57) 【要約】

【課題】ウェーブノイズの発生を軽減できる液晶表示装置を提供する。

【解決手段】タイミング制御部 710 に色信号とタイミング制御信号が入力される。パルスカウンティング及び生成部 712 は入力された垂直同期信号 (Vsync) に基づいて垂直同期開始信号 (STV) を生成し、この信号 (STV) のパルス数をカウントしてカウンティングパルス 711 を積分器 720 に提供する。積分器 720 はカウンティングパルス信号 711 から積分信号 721 を生成し、比較器 730 は、積分信号 721 と基準信号 (REF) を比較して生成したインバータ制御信号 731 をインバータ 400 に提供し、これに基づいてランブ部 500 を駆動する。

【選択図】 図 5



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

LCD パネルと前記 LCD パネルに光を供給するバックライトユニットを含む液晶表示装置の駆動方法であって、

外部から色信号とそのディスプレイを制御するタイミング信号を受信する段階と、

前記タイミング信号に基づいて生成した LCD パネル制御信号と前記色信号を前記 LCD パネルに供給する段階と、

前記タイミング信号と前記制御信号のうちどちらか一つに基づいて前記バックライトユニットを制御するバックライト制御信号を生成して前記バックライトユニットに提供する段階と、

を含む液晶表示装置の駆動方法。

10

**【請求項 2】**

前記バックライト制御信号生成段階は、

前記タイミング信号に同期するパルス信号を生成する段階と、

前記パルス信号を積分して積分信号を生成する段階と、

前記積分信号と基準信号を比較して前記バックライト制御信号を生成する段階と、

を含む、請求項 1 に記載の液晶表示装置の駆動方法。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

20

本発明は液晶表示装置とその駆動方法に関し、より詳しくはウェーブノイズの発生を減衰させるための液晶表示装置とその駆動方法に関する。

**【背景技術】****【0002】**

一般に受動形表示装置である液晶表示装置（以下、LCD）は光源として小型蛍光ランプを含むバックライトを使用する。

ランプはインバータで駆動され、このインバータには 2 種類のインバータが存在する、つまり、アナログ調光方式を利用するアナログ形インバータとデジタルまたはバースト（burst）調光方法を利用するデジタル形インバータが存在する。アナログインバータは調整可能な調光範囲が非常に狭いため、一般にデジタルインバータが好ましい。

30

**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

LCD における前段ゲート駆動方式とは、液晶キャパシタだけでなく保存キャパシタでも一方の端子が、ゲート線に連結されたゲート端子を有するトランジスタ端子（信号出力端子）に連結される反面、保存キャパシタのみ他側端子が前段ゲート線に連結され、液晶キャパシタの他側端子は共通電圧に連結されることを特長とする。トランジスタに連結された端子の電位は現在ゲート線がターンオフされた状態から前段ゲート線がターンオンされる時に変わる。このような電位変化は光の透過量を変化させる結果を招く。従って画素列の明るさも時間によって変化する。

40

**【0004】**

また、インバータから出力される調光信号の振幅が変わるためにバックライトの明るさも時間によって変わる。

上述の前段ゲート駆動方式を使うと、時間に応じて変化する光の強さと時間によって変化する調光が互いに干渉して視聴者の目にも感知される脈打ち現象が発生する。

**【0005】**

本発明の技術的課題は、このような従来の問題点を解決するためのものであって、ウェーブノイズを生成しない、調光周波数を見出さなくてもよいように、ウェーブノイズの発生を軽減できる液晶表示装置を提供することにある。

本発明の他の技術的課題は、このような液晶表示装置を駆動するための方法を提供する

50

ことにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

前記技術的課題を解決するための本発明の液晶表示装置は、複数の画素と前記画素に信号を伝達する複数の信号線を含むＬＣＤパネル、そして、前記ＬＣＤパネルに光を供給するため互いに離隔した二つ以上のランプを含むバックライトユニットを含み、前記ランプの点滅時期は互いに異なる。

【0007】

本発明の一特徴として、前記ランプの点滅時期は互い違いになっている。

本発明の他の特徴として、前記バックライトユニットは前記ランプを各々制御する複数のランプ駆動信号を前記各ランプに提供する複数の電源変換部を追加的に含み、前記複数のランプ駆動信号は位相差を有する。

本発明の他の特徴として、前記ランプの数は二つであり、前記二つのランプを制御する二つのランプ駆動信号の位相差は $180^{\circ}$ である。

【0008】

本発明の他の特徴として、前記各画素は電界生成電極とこれに連結されたスイッチング素子を含み、前記信号線は前記スイッチング素子に連結されて前記スイッチング素子を制御する走査信号を伝達するゲート線と前記スイッチング素子に連結されて画像信号を伝達するデータ線を含み、前記スイッチング素子は前記走査信号に応答して前記電界生成電極に前記画像信号を伝達する。

【0009】

本発明の他の特徴として、前記ＬＣＤパネルは前段ゲート駆動方式を採択することが好ましい。

本発明の他の特徴として、前記バックライトユニットはデジタル調光方式で駆動されることが好ましい。

前記技術的課題を解決するための本発明の他の液晶表示装置は、複数の画素と前記画素に信号を伝達する複数の信号線を含むＬＣＤパネル、そしてＬＣＤパネルに光を供給するバックライトユニットを含み、前記バックライトユニットは前記ＬＣＤパネルの制御信号に同期して制御される。

【0010】

このような本発明の特徴として、前記バックライトユニットは発光ランプと前記ランプを制御するランプ駆動信号を前記ランプに提供する電源変換部を含み、前記ランプ駆動信号は前記ＬＣＤパネルの制御信号に同期する。

本発明の他の特徴として、前記各画素は電界生成電極とこれに連結されたスイッチング素子を含み、前記信号線は前記スイッチング素子に連結されて前記スイッチング素子を制御する走査信号を伝達するゲート線と前記スイッチング素子に連結されて画像信号を伝達するデータ線を含み、前記スイッチング素子は前記走査信号に応答して前記電界生成電極に前記画像信号を伝達する。

【0011】

本発明の他の特徴として、外部から色信号とそのディスプレイを制御するタイミング信号の提供を受けて、前記タイミング信号に基づいて前記ＬＣＤパネル制御信号を生成して、前記色信号と共に前記ＬＣＤパネルに供給し、前記ＬＣＤパネル制御信号に基づいてバックライト制御信号を生成して前記電源変換部に供給する制御部を追加的に含み、前記電源変換部は前記バックライト制御信号に基づいて前記ランプ駆動信号を生成する。

【0012】

本発明の他の特徴として、前記タイミング信号は垂直同期信号及び水平同期信号を含み、前記バックライト制御信号は前記垂直同期信号または水平同期信号のうちどちらか一つに基づいて生成される。

本発明の他の特徴として、前記バックライト制御信号は前記タイミング信号に含まれる垂直同期信号によって生成される垂直同期開始信号または前記タイミング信号に含まれる

10

20

30

40

50

水平同期信号によって生成される水平同期開始信号のうちどちらか一つに基づいて生成される。

【 0 0 1 3 】

本発明の他の特徴として、前記バックライト制御信号を生成する前記制御部は、前記タイミング信号または前記LCDパネル制御信号のうちどちらか一つに基づいて生成したカウンティングパルスを出力するタイミング制御部、前記カウンティングパルスを積分して積分信号を生成する積分器、そして前記積分信号を基準信号と比較して前記バックライト制御信号を生成して前記電源変換部に提供する比較器を含む。

【 0 0 1 4 】

本発明の他の特徴として、前記積分信号は一フレーム内で時間の増加によってピークが増加、減少または一定の三角波形態である。 10

本発明の他の特徴として、前記バックライト制御信号は一フレーム内で時間の増加によってオン区間が増加、減少または一定である。

本発明の他の特徴として、前記LCDパネルは前段ゲート駆動方式を採択するのが好ましい。

【 0 0 1 5 】

本発明の他の特徴として、前記バックライトユニットはデジタル調光方式で駆動されるのが好ましい。

前記技術的課題を解決するための本発明は、LCDパネルと前記LCDパネルに光を供給するバックライトユニットを含む液晶表示装置の駆動方法を提供する。前記液晶表示装置駆動方法は、外部から色信号とそのディスプレイを制御するタイミング信号を受信する段階、前記タイミング信号に基づいて生成したLCDパネル制御信号と前記色信号を前記LCDパネルに供給する段階、そして前記タイミング信号前記制御信号のうちどちらか一つに基づいて前記バックライトユニットを制御するバックライト制御信号を生成して前記バックライトユニットに提供する段階を含む。 20

【 0 0 1 6 】

前記本発明の一特徴として、前記バックライト制御信号生成段階は、前記タイミング信号に同期するパルス信号を生成する段階、前記パルス信号を積分して積分信号を生成する段階、そして前記積分信号と基準信号を比較して前記バックライト制御信号を生成する段階を含む。 30

【 発明の効果 】

【 0 0 1 7 】

本発明による駆動方法は上記のように、デジタル調光方式のインバータのインバータ制御信号を垂直同期信号などLCDパネルの制御信号と同期させる。それにより、前段ゲート方式での輝度変化周期とバックライトの輝度変化周期が一致するので、脈打ち現象によるウェーブノイズ発生が減少する。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 8 】

以下、通常の知識を持っている者が本発明を容易に実施できるように実施例に関し説明する。 40

図1は本発明の第1実施例による液晶表示装置を示した図面である。

図1を参照すると、本発明の第1実施例による液晶表示装置はLCDパネル600、タイミング制御部100、ゲートドライバ200、一对のデータドライバ310、320、一对のデジタルインバータ410、420、一对のランプ部510、520を含む。

【 0 0 1 9 】

LCDパネル600には行列形式で配列された複数の画素（図示せず）とこの画素に信号を伝達する配線610、620が備えており、各画素は配線610、620に連結されている三端子スイッチング素子つまり薄膜トランジスタと、これに連結された電界生成電極を含む。LCDパネル600に備えられた配線としては、走査信号またはゲート信号を伝達するゲート線610と画像信号またはデータ信号を伝達するデータ線620などがあ 50

り、場合によって共通電極信号を伝達する信号線が備えられることもある。薄膜トランジスタはゲート線 610 からの走査信号に応答してデータ線 620 からの画像信号を電界生成電極に伝達する。

#### 【0020】

LCD パネルは次のようなバックライトユニットを含んでいる。つまり、LCD パネル 600 の上下側面または LCD パネル 600 の裏側の上下部には各々互いに離隔された上部及び下部ランプ部 510、520 が配置されており、これらランプ部は各々上部及び下部インバータ 410、420 に連結されてこれらインバータに制御される。

#### 【0021】

LCD パネル 600 の側面にはゲート線 610 と連結されてゲート信号を供給するゲートドライバー 200 が位置しており、上下には各々データ線 620 と連結されてデータ線 620 にデータ信号を供給する上部及び下部データドライバー 310、320 が位置している。本実施例で上部及び下部データドライバー 310、320 は各々 LCD パネル 600 の奇数番目データ線と偶数番目データ線に連結されているが、その他の方法で連結することも可能である。

#### 【0022】

ゲートドライバー 200 及びデータドライバー 310、320 とインバータ 410、420 はタイミング制御部 100 に連結されて制御を受けるが、これについて下記に詳細に説明する。

タイミング制御部 100 は外部のグラフィック制御機（図示せず）から赤、緑、青の色信号（R、G、B）と画面表示を制御する各種タイミング信号、例えば垂直同期信号（Vsync）、水平同期信号（Hsync）、データイネーブル信号（DE）、主クロック信号（MCLK）の提供を受ける。タイミング制御部 100 はタイミング信号に基づいてゲートドライバー 200 及びデータドライバー 310、320 を各々制御するゲート及びデータドライバー制御信号 131、111、112 を生成して、これを各々ゲートドライバー 200 とデータドライバー 310、320 に送る。この時データドライバー 310、320 には色信号（R、G、B）も共に供給される。ゲートドライバー 200 は制御信号 131 に応答して LCD パネル 600 のゲート線 610 に順次にゲート信号を印加しゲート線 610 に連結された薄膜トランジスタをオンオフさせる。一方、データドライバー 310、320 は制御信号 111、112 に応答して色信号（R、G、B）に該当する画像信号をデータ線 620 に印加することによって、この画像信号が導通した薄膜トランジスタを通じて電界生成電極に印加され表示動作を行うことができるようにする。

#### 【0023】

タイミング制御部 100 はまたタイミング信号に基づいてインバータ 410、420 を制御するインバータ制御信号 121、122 を生成し、これを各々インバータ 410、420 に出力する。各インバータ 410、420 はインバータ制御信号 121、122 に基づいて各ランプ部 510、520 を制御するランプ駆動信号 411、421 を提供し、この駆動信号 411、421 によって各ランプ部 510、520 が点滅する。

#### 【0024】

この時上部ランプ部 510 と下部ランプ部 520 の点滅時期は互いに異なって同時に点滅されないことが良く、特に二つのランプ部 510、520 が交互に点滅されるのが好ましい。このようにする場合、LCD パネル 600 の明るさ変化を減らすことができる。

このためには二つのランプ部 510、520 に印加されるランプ駆動信号 411、421 に位相差を与えなければならず、特に位相反転あるいは、位相差が 180°である場合が最も好ましい。

#### 【0025】

図 2 には位相差が 180°である二つのランプ駆動信号 411、421 の波形と、この場合の LCD パネル 600 の明るさが示されている。図 2 のランプ駆動信号 411、421 のオン区間はオフ区間に比べて短いため LCD パネル 600 の明るさが周期的に変化する。しかし、普通は明るさが暗い区間が明るい区間に比べて相対的に非常に短いため全

10

20

30

40

50

体的な明るさの変化は非常に小さい。このように大部分の時間の間、一定の明るさを維持すれば前段ゲート駆動方式での電圧変化による明るさとバックライトの明るさが光学的に干渉して現れるウェーブノイズ現象が多少減少する。

#### 【0026】

一方、インバータ410、420は多様な構造を有することができるが、その例が図3及び図4に示されている。

図3に示したインバータ430はパルス発生器412、コントローラ414及びトランスフォーマー416を含む。

パルス発生器412は外部から提供されるパワーオン/オフ信号(PW)によって起動されて、タイミング制御部100から提供されるインバータ制御信号121、122、例えば輝度制御信号(BC)に基づいてパルス信号を生成してコントローラ414に提供する。この時パルスの振幅及び幅とパルス数は輝度制御信号(BC)によって変わることがある。

#### 【0027】

コントローラ414はパルス発生器412から提供される信号に応答して、入力される電圧(Vin、GND)を選択しインバータ制御信号としてトランスフォーマー416に出力し、トランスフォーマー416は提供されたインバータ制御信号をランプ部510、520に印加する。

図4に示したインバータ440はコントローラ422とトランスフォーマー416だけを含み、別途のパルス発生器は設けない。従ってタイミング制御部100から提供されるインバータ制御信号121、122がパルス形である点が異なるが、他の動作は図3の場合と同一である。

#### 【0028】

前記に説明した液晶表示装置はランプ部が二個所以上配置されている場合であったが、一個所にだけある場合もある。この場合、前記とは異なる方法でバックライトを制御しなければならない、下記にその方法について説明する。

図5は本発明の第2実施例による液晶表示装置を示した図面である。

図5を参照すると、本発明の第2実施例による液晶表示装置はLCDパネル600とその一側面に位置したランプ部500とそれを制御するインバータ400、そしてゲートドライバ200、データドライバ300とこれらを制御する制御部700を含む。図1に示した液晶表示装置と比較すると、ランプ部500とインバータ400及びデータドライバ300が一つずつのみあり、タイミング制御部(図1の100)とは機能が異なるコントローラ700があるという点を除くと、各部分の構造と機能が殆ど同じである。第1実施例による液晶表示装置と異なる点を説明する。

#### 【0029】

まず、図5に示す本実施例の液晶表示装置はデータドライバ300が二つあるデュアルバンク(dual bank)形ではなく、一つだけのシングルバンク(single bank)形である。これによりLCDパネル600のデータ線620が全て一つのデータドライバ300に連結されている。しかし、本実施例はデュアルバンク形液晶表示装置にも適用可能であるのは当然のことであり、反対に第1実施例もシングルバンク形に適用可能である。

#### 【0030】

制御部700はパルスカウンティング及び生成部712を備えたタイミング制御部710と積分器720と比較器730を含み、これらが順次に連結された構造を有する。以下、このような液晶表示装置でバックライトを駆動する方法について図5及び図6を参考として説明する。

外部のグラフィック制御機(図示せず)でタイミング制御部710に入力される信号は第1実施例と同様に色信号(R、G、B)とタイミング制御信号(Vsync、Hsync、DE、MCLK)である。図5及び図6に示したように、パルスカウンティング及び生成部712は入力された垂直同期信号(Vsync)に基づいて垂直同期開始信号(STV)を生成し、この信号(STV)のパルス数をカウンティングしてカウンティングパ

10

20

30

40

50

ルス 7 1 1 を積分器 7 2 0 に提供する。図 6 には二つの垂直同期開始信号ごとに一つのカウンティングパルス生成する例が示されている。積分器 7 2 0 はカウンティングパルス信号 7 1 1 を積分して三角波形である積分信号 7 2 1 を生成した後、これを比較器 7 3 0 に提供する。比較器 7 3 0 は積分信号 7 2 1 と基準信号 ( R E F ) を比較して生成したインバータ制御信号 7 3 1 をインバータ 4 0 0 に提供して、インバータ 4 0 0 はこれに基づいてランプ部 5 0 0 を駆動する。

#### 【 0 0 3 1 】

この時カウンティングパルス信号 7 1 1 のパルスの振幅、幅、パルス数等は多様に変化することができ、これにより積分信号 7 2 1 とインバータ制御信号 7 3 1 も変化することができるが、図 7 乃至図 9 にその例を示した。

10

図 7 と図 8 は、一フレーム内で積分信号 7 2 1 である三角波のピーク値が増加または減少する例を示しており、図 9 はピーク値が一定な例を示している。図 7 または図 8 で三角波は一フレーム内で下方のピークが M I N である時から上方のピークが M A X である時まで、またはその反対に変化する。図 7 乃至図 9 でインバータ制御信号 7 3 1 のオン区間は積分信号 7 2 1 が基準信号 ( R E F ) より大きい区間と定義されるので、図 7 の場合オン区間がフレームの終わりへ行くほどますます長くなり、図 8 の場合はその反対で、図 9 の場合は一定である。

#### 【 0 0 3 2 】

しかし、図 7 と 8 の場合には一フレームとインバータパルスが正確にマッチングされるようにパルスカウンティング及び生成部 7 1 2 を設計しなければならない。このためにはパルスカウンティング及び生成部 7 1 2 に内蔵可能なカウンタを設置することが好ましい。

20

以上でインバータ制御信号 7 3 1 は垂直同期開始信号 ( S T V ) に基づいて生成することを一例として説明したが、これとは異なって垂直同期信号 ( V s y n c ) や水平同期信号 ( H s y n c ) 、または水平同期信号 ( H s y n c ) によって生成される水平同期開始信号 ( S T H ) に基づいて生成されることも可能である。

#### 【 0 0 3 3 】

前記では本発明の好ましい実施例を参照して説明したが、当該技術分野の熟練した当業者は下記の特許請求の範囲に記載された本発明の思想及び領域から逸脱しない範囲内で本発明を多様に修正及び変更できることを理解することができる。

30

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【 0 0 3 4 】

【図 1】本発明の第実施例による液晶表示装置を示したブロック図である。

【図 2】本発明の第 1 実施例による液晶表示装置のランプ駆動信号の波形と L C D パネルの明るさを示した波形図である。

【図 3】液晶表示装置のインバータの例を示したブロック図である。

【図 4】液晶表示装置のインバータの例を示したブロック図である。

【図 5】本発明の第 2 実施例による液晶表示装置を示したブロック図である。

【図 6】本発明の第 2 実施例による液晶表示装置のバックライトを駆動するのに用いられる信号の波形図である。

40

【図 7】本発明の第 2 実施例による液晶表示装置のバックライトを駆動するのに用いられる信号の波形図である。

【図 8】本発明の第 2 実施例による液晶表示装置のバックライトを駆動するのに用いられる信号の波形図である。

【図 9】本発明の第 2 実施例による液晶表示装置のバックライトを駆動するのに用いられる信号の波形図である。

#### 【符号の説明】

#### 【 0 0 3 5 】

1 0 0 タイミング制御部

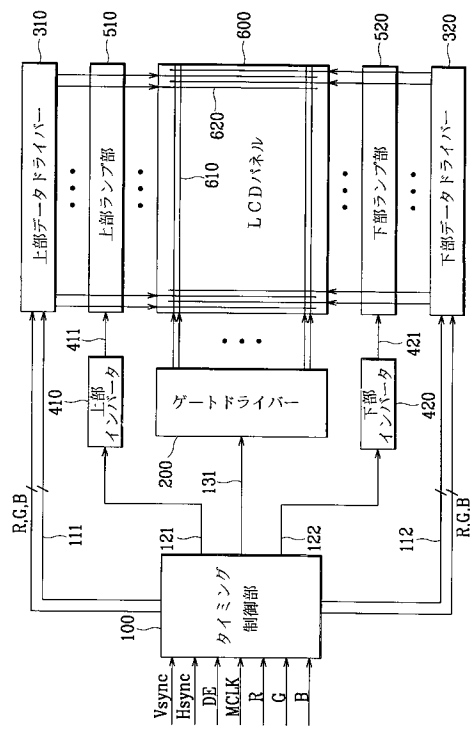
1 1 1 ゲート及びデータドライバー制御信号

50

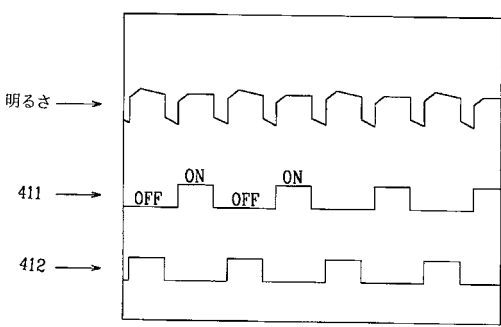
1 1 2	ゲート及びデータドライバ制御信号	
1 2 1	インバータ制御信号	
1 2 2	インバータ制御信号	
1 3 1	ゲート及びデータドライバ制御信号	
2 0 0	ゲートドライバ	
3 0 0	データドライバ	
3 1 0	データドライバ	
3 2 0	データドライバ	
4 0 0	インバータ	
4 1 0	デジタルインバータ	10
4 1 1	ランプ駆動信号	
4 1 2	パルス発生器	
4 1 4	コントローラ	
4 1 6	トランスフォーマ	
4 2 2	コントローラ	
4 2 1	ランプ駆動信号	
4 2 0	デジタルインバータ	
4 3 0	インバータ	
4 4 0	インバータ	
5 0 0	ランプ部	20
5 1 0	上部ランプ部	
5 2 0	下部ランプ部	
6 0 0	L C D パネル	
6 1 0	ゲート線	
6 2 0	データ線	
7 0 0	コントローラ	
7 1 0	タイミング制御部	
7 1 1	カウンティングパルス信号	
7 1 2	パルスカウンティング及び生成部	
7 2 0	積分器	30
7 2 1	積分信号	
7 3 0	比較器	
V s y n c	垂直同期信号	
H s y n c	水平同期信号	
D E	データイネーブル信号	
M C L K	主クロック信号	



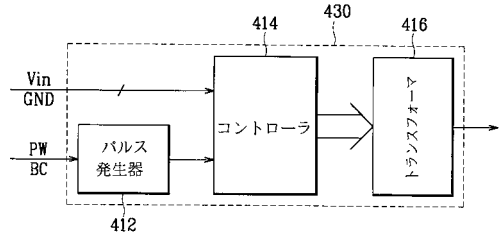
【図 1】



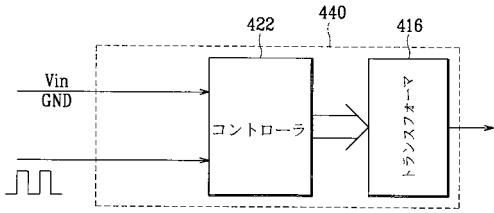
【図 2】



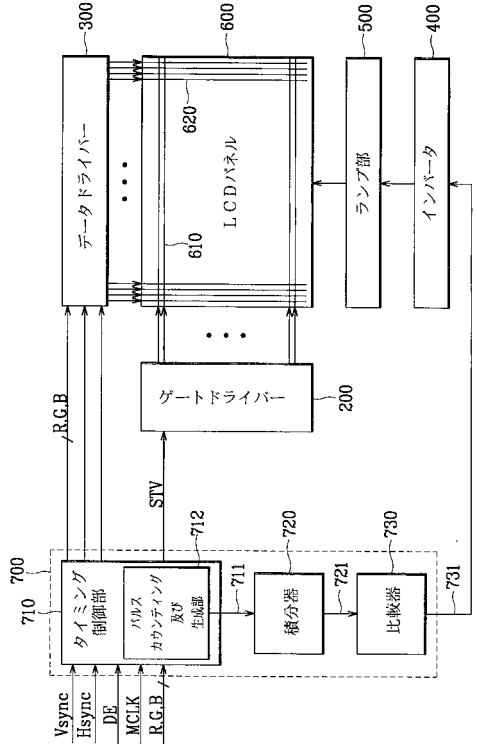
【図 3】



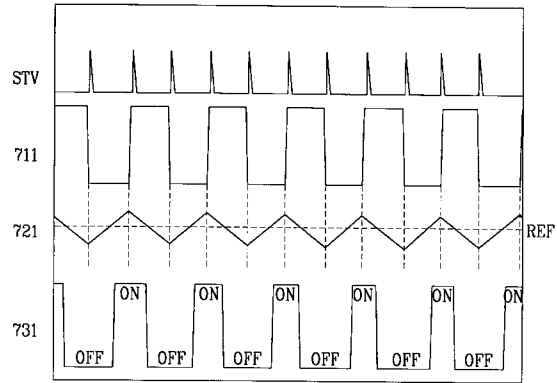
【図 4】



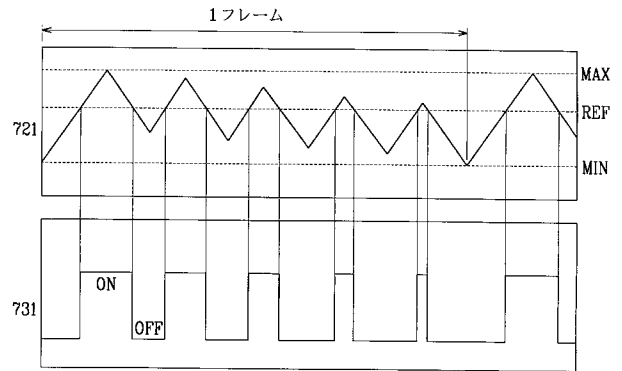
【図 5】



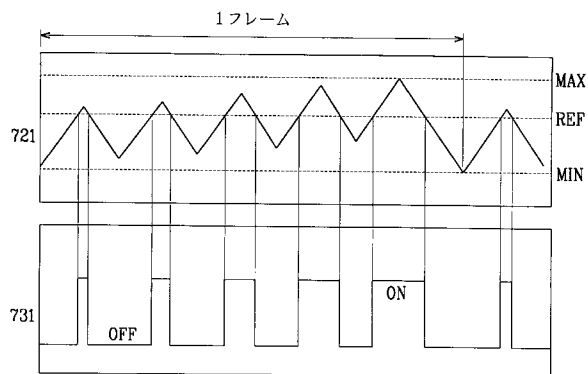
【図 6】



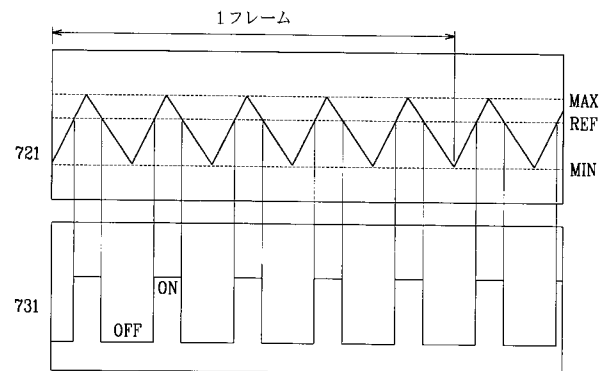
【図 8】



【図 7】



【図 9】



---

フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I テーマコード(参考)  
G 0 9 G 3/20 6 1 1 Z

(72)発明者 愼 重 ヒョック

大韓民国京畿道水原市八達区牛満洞 2 9 番地住公アパート 2 0 5 棟 3 0 5 号

(72)発明者 朴 鐘 賢

大韓民国ソウル市冠岳区奉天 1 1 洞 1 8 0 - 1 9 0 番地テウルビラ 2 0 1 号

F ターム(参考) 2H093 NC25 NC27 NC34 NC44 ND09 ND10

5C006 AF42 AF52 AF71 BC12 EA01 FA31

5C080 AA10 BB05 DD01 DD12 JJ02 JJ04 JJ05

专利名称(译)	用于驱动液晶显示装置的方法		
公开(公告)号	<a href="#">JP2007122081A</a>	公开(公告)日	2007-05-17
申请号	JP2007021694	申请日	2007-01-31
[标]申请(专利权)人(译)	三星电子株式会社		
申请(专利权)人(译)	三星电子株式会社		
[标]发明人	李相哲 郭珍午 愼重ヒヨック 朴鐘賢		
发明人	李 相 哲 郭 珍 午 愼 重 ▲ヒヨック▼ 朴 鐘 賢		
IPC分类号	G02F1/133 G09G3/36 G09G3/20 G09G3/34 H04N5/66		
CPC分类号	G09G3/3406 G09G2320/0633 G09G2320/064		
FI分类号	G02F1/133.535 G09G3/36 G09G3/20.612.L G09G3/20.612.J G09G3/34.J G09G3/20.611.Z		
F-TERM分类号	2H093/NC25 2H093/NC27 2H093/NC34 2H093/NC44 2H093/ND09 2H093/ND10 5C006/AF42 5C006/AF52 5C006/AF71 5C006/BC12 5C006/EA01 5C006/FA31 5C080/AA10 5C080/BB05 5C080/DD01 5C080/DD12 5C080/JJ02 5C080/JJ04 5C080/JJ05 2H193/ZA04 2H193/ZD32		
优先权	1020010051356 2001-08-24 KR		
外部链接	<a href="#">Espacenet</a>		

# 摘要(译)

要解决的问题：提供一种衰减波噪声的产生的液晶显示器。解决方案：在定时控制器710中输入颜色信号和定时控制信号。脉冲计数和生成部712基于输入垂直同步信号（Vsync）生成垂直同步开始信号（STV），并且对脉冲数以向积分器720提供计数脉冲信号711。积分器720从计数脉冲信号711产生积分信号721，比较器730提供逆变器控制信号731，该逆变器控制信号731通过将积分信号721与参考信号（REF）到逆变器400，并且灯部件500基于此被驱动。Ž

